

資料編

1. データ等で見える川崎の魅力や強み

「産業・研究開発」関連事項

専門的・技術的職業従事者の割合

1	川崎市	18.8%
2	横浜市	17.8%
3	仙台市	16.0%
4	東京都区部	15.8%
5	福岡市	15.6%
6	千葉市	15.5%
7	神戸市	15.5%
8	札幌市	15.3%
9	京都市	14.8%
10	広島市	14.7%
11	北九州市	14.4%
12	名古屋市	13.5%
13	大阪市	11.9%
-	13 都市平均	15.3%

技術者の割合

1	川崎市	9.03%
2	横浜市	7.96%
3	千葉市	5.51%
-	13 都市平均	4.80%

科学研究者の割合

1	横浜市	0.59%
2	川崎市	0.55%
3	千葉市	0.42%
-	13 都市平均	0.27%

経営専門職業従事者の割合

1	東京都区部	0.43%
2	川崎市	0.31%
3	京都市	0.30%
-	13 都市平均	0.26%

(出典) 平成 12 年国勢調査 < 抽出詳細集計 >

専門的・技術的商業従事者の割合が、大都市中最も高い川崎市

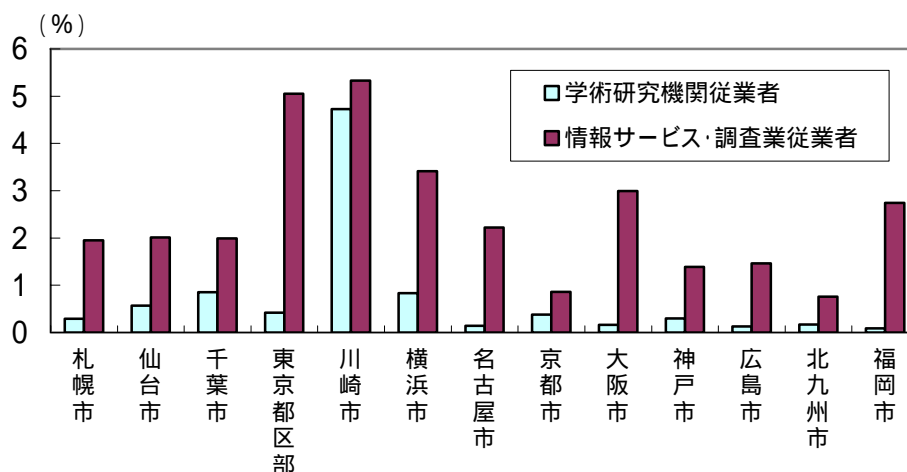
川崎市民の職業で、年々増加している「専門的・技術的職業従事者」について、15 歳以上就業者に占める割合を 13 大都市で見ると、川崎市は最もその割合が高くなっています（技術者は約 6 万人。そのうち、情報処理技術者が約 3 万人）。

さらに、「専門的・技術的職業従事者」の職種を詳しく見ても、さまざまな職業で川崎市が上位となっています。



防災システム、レスキューロボットなどを研究する「川崎ラボラトリー」

学術研究機関及び情報サービス・調査業従事者の割合（平成 13 年）



（出典）大都市比較統計年報

学術研究機関従業者の割合が大都市中最も高い川崎市

学術研究機関従業者構成比は、大都市平均（0.7%）を大きく上回る 4.73%で最も高くなっており、学術研究開発期間の集積を裏づけています。

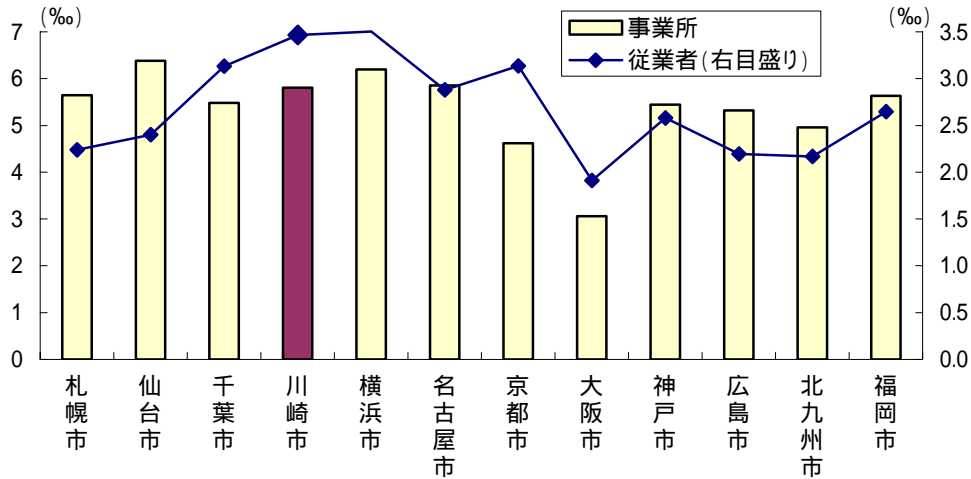
また、情報サービス・調査業従業者構成比も、5.33%で大都市のなかで最も高くなっています。

〔市内の主な学術・研究開発拠点〕



「芸術・文化」関連事項

音楽関係事業所及び従業者の割合（平成 13 年）

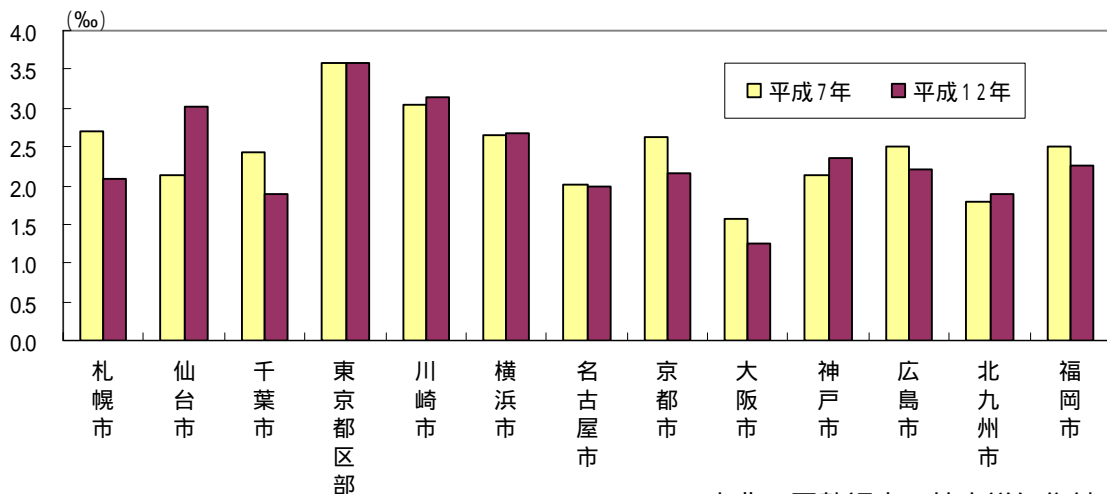


(出典) 事業所・企業統計調査

音楽関係従業者割合が高く大都市中第 2 位

平成 13 年の全事業所に占める音楽個人教授所などの音楽関係事業所の割合を大都市で比較すると、川崎市は、5.81 パーミル (‰、例：5.81‰ = 0.581%) で大都市平均を上回り 4 番目となっています。

就業者に占める音楽家の割合（平成 7 年、12 年）

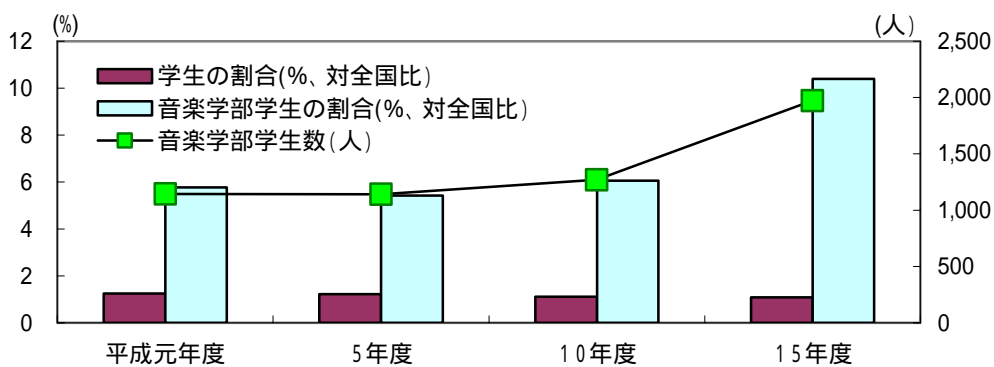


(出典) 国勢調査 < 抽出詳細集計 >

音楽家の割合が高く大都市中第 2 位

平成 12 年の川崎市民の職業別就業者数をみると、就業者に占める音楽家の割合は、13 大都市中、川崎市は、3.1 パーミルで東京都区部に次いで 2 番目に高くなっています。

音楽学部学生数等（平成元年度～15年度）



(出典) 学校基本調査

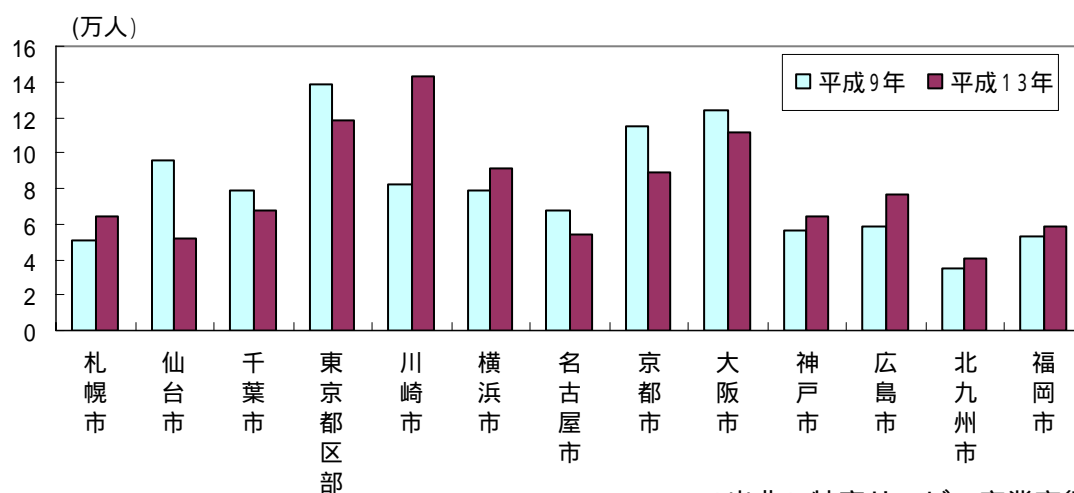
音楽学部学生数は全国の 10.4%

平成 15 年度の川崎市内の音楽学部学生数は、全国の 10.4%を占め、1,973 人となっています。



「音楽のまち・かわさき」のシンボルとなるミューザ川崎シンフォニーホール
(写真は、平成 16 年 7 月 1 日、東京交響楽団によるこけら落としコンサート)

映画館 1 スクリーン当たり年間入場者数（平成 9 年、13 年）



(出典) 特定サービス産業実態調査

1 スクリーンあたりの年間入場者数は大都市中第 1 位

平成 13 年の映画館 1 スクリーン当たり入場者数を 13 大都市で比較すると、川崎市は、大都市平均（7 万 9 千人）を大きく上回る 14 万 2 千人で最も多くなっています。

〔川崎市市民文化大使〕

市にゆかりがあり、芸術・文化等の分野で国内外で活躍されている方々が各々の活動を通し、川崎の魅力を発信。任期は 2 年間。



秋山 和慶氏
(音楽監督・桂冠指揮者)



佐藤 征一郎氏
(声楽家)



藤村 志保氏
(女優)



小原 孝氏
(ピアニスト)



佐藤 忠男氏
(日本映画学校校長)



ボルピチェリ 孝子氏
(株式会社フタバインテ)
代表取締役



古賀 稔彦氏
(柔道家)



名渡山 兼一氏
(琉球音楽家)



三輪 晃久氏
(写真家)

「スポーツ」関連事項

〔川崎市ホームタウンスポーツ推進パートナー〕

全国で活躍しているトップチーム・トップアスリートとパートナーとなりスポーツを通して川崎の魅力を発信。



東芝ブレイブサンダース
(バスケットボール)

富士通レッドウェーブ
(バスケットボール)



中田大輔さん(トランポリン)



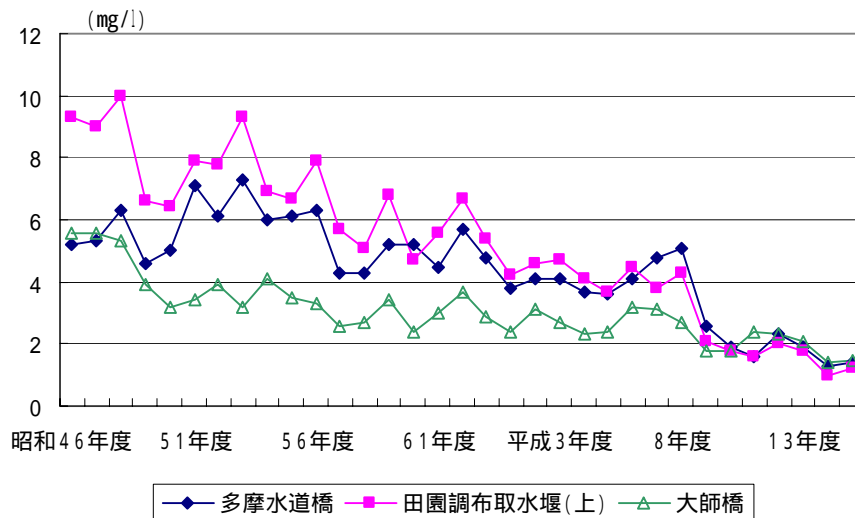
川崎フロンターレ(J1)



東芝野球部

「自然」関連事項

多摩川水系の BOD 推移 (年度平均値) (昭和 46 年度 ~ 平成 15 年度)



(出典) 環境局

多摩川の BOD は大幅に改善、鮎 (アユ) 復活

多摩川の水質は、年々改善されています。BOD が 3 mg/L 以下になると、鮎などの魚類が生育し、さらに 2 mg/L 以下になると自然繁殖の条件が整うと言われていますが、次の 3 つの地点では、平成 9 年度に生育条件を満たし、平成 14 年度には、繁殖条件を満たしています。

BOD (生物化学的酸素要求量): 有機物が微生物に分解される時に消費される酸素の量。

多摩川



バラ園 (生田緑地)



麻生川



2. 他都市から見た川崎のイメージ調査結果（抜粋）

回答結果一覧（各設問に対する回答割合の上位3位まで）

質問項目	順位	母数1,902人	件数 (人)	構成比 (%)
Q. 川崎と言えば、どのような「まち」をイメージしますか。（複数回答3つまで）	第1位	産業のまち	1,200	63.1
	第2位	公害のまち	767	40.3
	第3位	労働者の集うまち	683	35.9
Q. 川崎の色を表現するとしたら、何色だと思いますか。	第1位	灰色	840	44.2
	第2位	緑	240	12.6
	第3位	青	196	10.3
Q. 川崎のイメージを、どのように思いますか。	第1位	どちらともいえない	660	34.7
	第2位	やや悪い	617	32.4
	第3位	ややよい	352	18.5
Q. 川崎のイメージは、今のままでよいと思いますか。	第1位	変えたほうがよい	835	43.9
	第2位	どちらともいえない	670	35.2
	第3位	今のままでよい	357	18.8
Q. 川崎の主要な施設および自然スポット等の認知状況。	第1位	川崎大師	1,828	96.1
	第2位	多摩川	1,621	85.2
	第3位	よみうりランド	1,561	82.1
Q. 川崎のイベントの認知状況。	第1位	市制記念花火大会	525	27.6
	第2位	川崎大師風鈴市	520	27.3
	第3位	かわさき市民まつり	353	18.6
Q. 川崎の名品・名産の認知状況。	第1位	久寿餅	1,029	54.1
	第2位	多摩川梨	831	43.7
	第3位	とんとこ飴	543	28.5
Q. 川崎と言えば何を思い浮かべますか。 （複数回答5つまで）	第1位	川崎大師	1,532	80.5
	第2位	京浜工業地帯	822	43.2
	第3位	よみうりランド	514	27.0

「平成15年度都市イメージ調査」より

調査対象：東京都大田区、世田谷区、町田市、横浜市鶴見区、港北区の5地域 合計約2,000人

調査実施時期：平成16年1月

3 . 川崎市シティセールス推進懇話会委員

川崎市では、平成 16 年 5 月、「シティセールス推進懇話会」を設置し、川崎の魅力やポテンシャルを活かしたイメージアップ方策等について、約 1 年間にわたり議論を重ねていただきました。

本プランは、この懇話会からの報告書等を踏まえ、新総合計画の策定作業と連携を図りながら策定したものです。

ご協力をいただきました委員の方々は、次のとおりです。

川崎市シティセールス推進懇話会委員名簿

(五十音順・敬称略)

(座長)	飽戸 弘	東洋英和女学院大学教授・東京大学名誉教授
	伊藤 奈美	かわさき楽大師プロジェクト代表
	岩森耕太郎	川崎商工会議所 企画広報部 部長
	千葉 和子	株式会社ジェイティービーパブリッシング 広告本部 地域協力推進担当 マネージャー
	土屋 友子	株式会社チッタ エンタテインメント 企画戦略室 広報宣伝係長
	寺川 香苗	株式会社アーリーバードシステムズ ロケセット統括マネージャー
	長島 保	NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事 地域史研究家
	服部 弘	日本放送協会放送文化研究所 放送研究部 副部長
	細野 顕宏	株式会社ジェイティービー 川崎支店 支店長
	渡辺 治	株式会社渡辺治建築都市設計事務所 代表取締役